

活かしましょう！ 恵まれた読書環境を

校長 吉峯 進

晩秋を迎えています。本校では、運動会（スポーツの秋）と発表会（芸術の秋）が終わり、現在「読書の秋」真っ盛りです。11月を「読書月間」と位置付け、読書に関連する様々な取組を展開しています。

さて、この読書、学校において一義的には、豊かな感性を育てたり、発想力や想像力、集中力を高めたりするために行う教育的な行為であると考えます。しかし、読書を通しては、副次的に学力等に結び付く次のような効果が得られるとも言われています。

- ◎ 日頃から活字に慣れていると、長文を速く正確に読めるようになる。速く読んで理解できると、それだけ考える時間を確保できる。
- ◎ 文章を読むことに慣れていると、文章の流れを感覚で理解できるようになる。
※ 暗算の得意な子が数字の読み上げを聞いただけで、瞬間的に答えが分かるのと同じ感覚
- ◎ 「なぜ〇〇ですか」という問いに、「△△だから」という答えが素早く浮かぶようになる。
※ 受け答えが上手になる。
- ◎ 数字の背景にある文脈を読み取る力と、それを論理立てて説明する力がつく。
※ 国語以外の教科でも役立つ。
※ 相手の話を理解したり、分かりやすく伝えたりする力は、日常生活にも生かせる。

つまり、読書を通して身に付けた読む力「読解力」は、教科に関わらず学力の基礎となるだけでなく、日常生活にも大きな影響を与えることとなります。

それでは、どうしたら読書好きな子どもが育つのでしょうか。平成25年度に、お茶の水女子大学が文部科学省からの委託を受け、全国学力・学習状況調査の結果を活用した研究からは、次のような結果が出ています。

- ☆ 親が新聞や本を子どもに勧めている。
- ☆ 親子で一緒に図書館に行っている。
- ☆ 小さい頃に絵本の読み聞かせがされている。

学校には図書室があり、校区内には県立奄美図書館があり、四谷分館にも図書があります。少し足を延ばせば新しい奄美市民交流センターにも図書があります。これほど身近に読書環境の整った所が他にあるのでしょうか。なんと恵まれていることでしょうか。親子一緒に本のある場所に立ち寄って、まずは本を手にとってみませんか。読み聞かせにしても学年は関係ありません。子どもたちは、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんの読み聞かせに、大きな空想を膨らませるはず。家庭での子どもたちの音読に、ジッと耳を傾けることもできます。

今一度、本や新聞を読む、活字に触れることについて、親子で一緒に考えてみましょう。

【12月の主な行事予定】

- 1日(水) 校内持久走大会(中学年) 学級PTA(中学年)
- 2日(木) 校内持久走大会(高学年) 学級PTA(高学年)
- 11日(土) 土曜授業、芸術鑑賞会
- 14日(火) 6年修学旅行(16日まで)
- 17日(金) 6年休養措置日
- 24日(金) 2学期終業式
- 25日(土) 冬休み開始

1月11日(火) 3学期始業式

◇歯っぴい週間 < 6日(月)~11日(土) >

地域が育む「かごしまの教育」県民週間(11月1日~11月5日)

例年のおおりに、今年も多く保護者・地域の方に来校していただき、授業等の子どもたちの姿をご覧いただきました。アンケートの中には、「コロナで学校に行く機会が少なくなったので、学校の様子を見る機会となってよかった。」「タブレットを上手に使っていて驚いた。」といった回答もあり、自由参観を通して、学校の様子を少しでも分かっていただけたものと思っています。

また、11月2日、4日、5日の3校時は、発表会を実施し、多数の保護者の方々に御参観いただきました。新型コロナウイルス感染防止のため、発表学年に合わせて保護者の入替を行い、御面倒もおかけしましたが、保護者の方々が見守る中、どの学年も個性豊かで工夫された内容で、子どもたちも活き活き発表する様子が見られました。子どもたちにとっても、一つの達成感を味わうことができたのではないかと思います。

今後とも本校への御理解と御協力をお願いします。



第2回学校保健委員会

11月4日(木)、宇検村相談員でカラーセラピストの南澤 響子 先生をお招きし、「色で紐解く親子関係」と題し、親または子の無意識に選ぶ色から、それぞれの色のもつメッセージ、自分と色の違う子どもに対する声かけの仕方、親と子は違う人間だと理解した上でのコミュニケーションの基本について御講話いただきました。

成功体験と安心感を子どもの脳へのインプットするためのコミュニケーションの基本として、次のようなお話もありました。

- ・ 笑顔で、子どもの目を見て、子どもの心を受け止める姿勢を心がける
- ・ 見守る。
- ・ 「何してるの！」ではなく、「～だったらどうする？」と問いかける。
- ・ チャレンジすることを楽しむ。
- ・ 正しさを言うのではなく、子どもの心を受け止める。

各御家庭でも、改めて自分自信を受け入れながら、子どもを見つめ直してみてもいいのではないでしょうか。



受賞おめでとう

奄美市陸上記録会 (3位以上)

6年男子100m走	1位	岡本 優輝 (13秒56)
6年女子走り幅跳び	1位	竹山 真子 (3m66cm)
6年男子走り高跳び	1位	木原 優笑 (1m31cm)
	3位	赤井 颯 (1m22cm)
6年女子800m走	1位	前崎 優実 (2分44秒8)
6年男子1000m走	2位	郷 航輔 (3分30秒8)
女子400mリレー	2位	久井 舞乃空 前崎 優実 山本 美咲 川路 遙花 (1分2秒32)
男子400mリレー	1位	岡本 優輝 米田 湮暁 武島 亜楼 加納 雅 (57秒12)



絵はがきコンクール

- 【最優秀賞】 6年 小元 美桜菜
- 【大島税務署長賞】 6年 田崎 琉那
- 【法人会会長賞】 6年 竹山 真子
- 【法人会青年部会会長賞】 6年 勇 優菜
- 【優秀賞】 6年 谷山 優樹菜
- 【入選】 6年 義永 綺彩 6年 山本 美咲



JTA・RACあおぞら図画コンクール

- 【優秀賞】 2年 元 優誠
- 【佳作】 3年 野田 啓太郎



【12月の生活目標】

- ☆ 言葉づかいに気をつけよう。
- 【12月の保健・給食目標】
- ☆ かぜの予防をしよう。

